

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスみらいの風				公表日		令和8年3月19日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	指定基準を超える広さを確保しているほか、活動内容に応じて、事業所内だけでなく母体法人の施設（体育館など）も活用しています。	外部スペース利用時の安全管理や動線確保のルール化など、継続的な検討余地があると考えます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	1	・指定基準以上の職員を配置しています。 ・活動場所に人員が配置するよう、職員間で声掛けを行い、見守り体制を整備しています。	・他施設と比較すると職員配置数が少ない実情があります。 ・必要時の応援体制の整備や、繁忙期の人員確保方法の検討が今後必要と考えています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・活動予定や気持ちの温度計を掲示し、視覚的に状況把握しやすい環境を整えています。 ・静的活動・動的活動・屋外活動など、活動内容に応じた構造化を行っています。 ・個別スケジュールの活用など、特性に応じた情報伝達の工夫を行っています。 ・活動場所の役割（勉強・運動など）を職員が声掛けして明確にしています。	・掲示物の更新頻度や視覚支援の個別最適化については、継続的な見直し検討が必要と考えています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・活動前の消毒清拭、物品使用後の消毒など、衛生管理を徹底しています。 ・活動内容に応じてスペースを可変できる備品を配置しています。 ・法人の感染対策委員会のチェックを受け、衛生管理を随時強化しています。 ・手洗い方法の掲示や消毒の声掛けなど、利用児童への周知も行っています。	・可変スペースの安全性確保や動線整理については、継続的な見直し検討が必要と考えています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・個室・スタッフルーム・仕切りスペースなどをクールダウンや静養に活用しています。 ・子どもの特性に応じて柔軟に利用できる体制を整えています。 ・クールダウン時の避難場所として利用できることを子どもへ周知しています。	・個別スペースの利用ルールや安全確保の方法について、必要に応じて検討が必要と考えています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・ミーティングで全職員が改善案を共有し、業務改善に参画しています。 ・新規支援や業務導入時には、全職員で検討しています。 ・毎日のミーティングで意見交換を行っています。	・PDCAの記録方法や振り返りの形式を統一することも、業務効率性をあげるうえで検討が必要と考えています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・年1回以上、保護者向け評価表を実施しています。 ・自己評価と合わせて職員間で検討し、改善に活かしています。 ・要望があれば随時共有し、対応策を協議しています。	・回収率向上や、保護者の声を可視化する仕組みの強化が課題と考えています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・毎日のミーティングで意見交換を行っています。 ・人事面談などの内容も業務改善に反映しています。 ・情報共有の場が日常的に確保されています。	・意見の記録・蓄積方法を整えることで、改善の継続性や透明性が向上する可能性があると考えます。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	・市役所障がい福祉課など関係機関へ相談し、運営改善に活かしています。 ・外部評価の受け入れ体制について検討を進めています。	・外部評価の仕組みが未構築であり、今後も整備検討が必要と考えています。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・月1回以上の部署研修、法人研修、オンライン研修など、多様な研修機会を確保しています。 ・外部研修にも積極的に参加しています。 ・参加できない職員には復命書で内容を共有する仕組みがあります。 ・勤務調整を行い、研修に参加しやすい体制を整えています。	・研修内容の体系化や、職員ごとのスキルマップに基づく研修計画の整備が今後の課題と考えています。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・支援プログラムを作成し、ホームページで公表しています。 ・初回見学時にパンフレットや口頭で特色を説明しています。 ・子どものニーズに基づいて適切に作成し、保護者へ分かりやすく公表することで透明性のある支援提供に努めています。 ・各職員ごとに担当を決め、定期的な見直しと変更を点の整理を継続実施しています。	・公表方法の多様化（紙媒体・説明動画など）や明確化が今後の課題と考えます。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・個別支援計画に先立ち、課題分析と担当職員・機能訓練職員によるアセスメントを実施しています。 ・児童・保護者のニーズ把握のため、聞き取り用紙を改善し、より分析しやすい形にしています。 ・利用頻度が少ない場合は、面談や電話で情報共有し、現状に合わせた計画立案を行っています。	・アセスメント内容の記録方法や、評価の標準化をさらに進める余地があると考えています。			

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画作成時に、担当職員・機能訓練職員・専門職など多職種が参画しています。</li> <li>・サービス担当者会議を実施し、各職種の専門的意見を取り入れています。</li> <li>・管理者・担当者・専門的支援職員・強度行動障害研修修了者などが協議し、最善の利益を踏まえて計画を作成しています。</li> <li>・前任者や管理責任者の意見も参考にしながら立案しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種協議の記録方法や、検討プロセスの可視化を進めることで、より一貫した支援につながると考えています。</li> </ul>
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画完成後に周知し、ICT記録ソフトで随時確認できる仕組みがあります。</li> <li>・計画や配慮事項について、補足説明を加えながら適宜共有しています。</li> <li>・サービス担当者会議で計画や立案意図を共有しています。</li> <li>・課題評価シートを活用し、多職種で意見交換を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画共有のタイミングや方法を統一することで、より一貫性のある支援につながると考えます。</li> </ul>
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察とアセスメントを適時実施し、記録して共有しています。</li> <li>・課題分析表などのフォーマルアセスメントと、日々の行動観察によるインフォーマルアセスメントを併用しています。</li> <li>・計画は5領域に沿って設定しています。</li> <li>・心理検査など標準化されたツールと行動観察を組み合わせアセスメントしています。</li> <li>・課題評価シートを活用し、ADL・IADLの評価を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメント結果の見える化や、保護者へのフィードバック方法の工夫が今後の改善点と考えます。</li> </ul>
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定項目に加え、発達5領域を網羅して支援内容を設定しています。</li> <li>・利用者の特性やニーズに応じて項目内容を調整しています。</li> <li>・ガイドラインの「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」の視点を踏まえて計画を作成しています。</li> <li>・5項目を必ず盛り込み、課題立案を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・項目間の関連性や優先順位をより明確化することで、計画の実効性が高まると考えています。</li> </ul>
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SSTやアナログゲームなど、活動ごとにチームを作り、情報共有と支援検討を行っています。</li> <li>・季節に合わせた活動を取り入れ、固定化を防いでいます。</li> <li>・長期休暇の外出レクや季節行事はチームで検討し、内容を共有しています。</li> <li>・定期ミーティングで各児童への活動展開を検討しています。</li> <li>・活動場所や環境に合わせて職員間で相談しながら実施しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の振り返りや評価の仕組みを整えることで、より質の高いプログラムにつながると考えています。</li> </ul>
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源や季節を活かした活動を随時取り入れています。</li> <li>・法人内施設（体育館等）や近隣施設を活用し、地域交流の場を確保しています。</li> <li>・園芸・水遊び・雷遊び・買い物支援など、多様な活動を積極的に取り入れています。</li> <li>・早下校時にはアナログゲームや地域資源を活用し、活動の幅を広げています。</li> <li>・長期学休日にはイベントを企画し実施しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動のバリエーションを体系化し、年間計画として整理することで、より計画的な運営が可能になると考えます。</li> </ul>
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別・集団の両面から心身発達を目指した支援方針を計画に盛り込んでいます。</li> <li>・利用児童の調子やモチベーションに合わせて支援を展開しています。</li> <li>・活動が固定化しないよう内容や環境を調整し、実施調整に反映しています。</li> <li>・児童ごとに目標を定め、計画を作成しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別と集団のバランスや、活動選択の根拠をより明確化することで、支援の一貫性が高まると考えます。</li> </ul>
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日のミーティングで役割分担や配慮事項を確認しています。</li> <li>・当日の利用者情報や職員配置を共有しています。</li> <li>・長期休暇中も必要に応じて出発前に情報共有を行っています。</li> <li>・前日の振り返りや専門職のスケジュール確認も行い、一貫した支援体制を整えています。</li> <li>・定時ミーティングで予定や送迎確認を行い、活動に入るスタッフを確認しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティング内容の記録や、共有方法の統一を進めることで、より確実な連携につながると考えます。</li> </ul>
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日ミーティングを実施し、気づきや課題を共有して支援の振り返りを行っています。</li> <li>・長期休暇中は支援終了後にミーティングを実施し、日常的な気づきは随時共有しています。</li> <li>・次の日の朝ミーティングで振り返ることも多く、支援内容を確認し合っています。</li> <li>・形式的な打ち合わせではなくても、その日に行った内容を職員間で確認し共有しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返り内容の記録方法を統一することで、改善点の蓄積と活用がより進む可能性があると考えています。</li> </ul>	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録ソフトを活用して支援記録を作成しています。</li> <li>日々の記録を徹底し、必要に応じて毎日のミーティングで共有しています。</li> <li>利用児童が欠席時にも心身状況を確認し、記録しています。</li> <li>本人の様子・スタッフの介入・その後の変化など、検証しやすい記録を心がけています。</li> <li>記録漏れがないよう、職員同士で声を掛け合っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日記録が難しい場合のフォロー体制や、記録の質を均一化する工夫の検討が必要と考えています。</li> </ul>
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画更新時に合わせてモニタリングを実施しています。</li> <li>保護者の都合に合わせて、送迎時なども活用して振り返りや意向確認等を行っています。</li> <li>半年の変化やニーズを踏まえて計画を見直しています。</li> <li>同じ課題を継続する場合は、振り返り内容を整理し理由を明確にしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニタリング内容の記録方法や、評価基準の統一を進めることで、より客観的な見直しが可能になります。</li> <li>毎日の支援記録時に活動内容と利用者の様子や状況を含んだ記録を行う事でモニタリング実施時により客観的な見直しが出来ると考えられます。</li> </ul>
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援内容に4つの基本活動を盛り込んでいます。</li> <li>午前授業や長期休暇中は特に地域交流機会の確保に努めています。</li> <li>活動内容の偏りを防ぎ、多様な経験ができるよう工夫しています。</li> <li>基本活動が重複しないよう課題選定を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動のバランスを定期的に振り返り、年間を通じた偏りのチェック体制を整える余地があります。</li> <li>活動内容を定期的に振り返り、年間を通じた偏りのチェックをしていく事でより充実した活動の展開が出来ると考えられます。</li> </ul>
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の大枠を設定し、個別に希望を確認して自己決定を促しています。</li> <li>個別支援計画に意思決定支援項目を設定し、場面ごとに選択を促しています。</li> <li>自発的な選択を見守り、選択肢がない場合は問いかけを工夫しています。</li> <li>言語表出が難しい子には紙面やボードで選択できるように工夫しています。</li> <li>活動候補を提示し、本人が考えて選択できる場を設けています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選択肢の提示方法や環境調整をさらに個別化することで、より主体的な選択を支えられます。</li> <li>選択肢の提示方法や環境調整をすることで、より主体的な選択を促して行く事が出来ると考えます。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>児発管のほか、担当職員が参加できるよう調整しています。</li> <li>担当スタッフや児発管が会議に参加しています。</li> <li>関係機関との会議を積極的に開催・参加しています。</li> <li>過去の関わりを知るスタッフが参加できるよう職員間で共有しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議内容の記録方法や参加者の役割分担をより明確にし、効果的な連携につなげるよう検討を進めたいと考えています。</li> </ul>
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の支援で気になる点は適宜共有し、必要に応じて支援者会議を行っています。</li> <li>下校時の連絡共有や学校職員等と、必要に応じて連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携内容の記録や連絡ルールの整理については、より安定した協働体制に近づけられるよう、今後も検討を進めていきたいと考えています。</li> </ul>
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校引き渡し時に情報共有を行っています。</li> <li>メールリストに登録し、学校情報を把握しています。</li> <li>送迎時に口頭で確認し、必要時には連絡ノートで共有しています。</li> <li>緊急時は即時連絡し、対応しています。</li> <li>連絡網やメールサービスを活用し、送迎変更などを確認しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校との情報共有の形式を統一し、記録として残す仕組みを整えることで、支援の一貫性を高められるよう取り組んでいきたいと考えています。</li> </ul>
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>該当児童がいない年度でも、必要に応じて他放デイや学童などと情報共有を行っています。</li> <li>就学前の情報は相談支援事業所や保護者から提供を受けています。</li> <li>利用開始時には学校へ連絡を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就学前機関との連携フローを整備し、該当ケース発生時にスムーズに対応できる体制を整える必要があります。</li> </ul>
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>該当児童がいない年度でも、他放デイへの引き継ぎ時には引き継ぎ書を作成しています。</li> <li>中学校までの受け入れのため移行ケースは少ないものの、必要に応じて情報提供を検討しています。</li> <li>移行が必要な場合には、支援内容を適切に提供し、円滑な引き継ぎを行う姿勢があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>移行支援の手順や書式についても、確実な対応が行えるよう、必要な整備を検討していきたいと考えています。</li> </ul>
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童発達支援センター主催の研修会に参加し、知識獲得につなげています。</li> <li>研修開催時には受講調整を行っています。</li> <li>必要時にスムーズに連携できるよう、センターの機能や役割を学んでいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スーパーバイズや専門的助言を受ける段階での連携が十分ではないため、今後の体制整備について検討を進めていきたいと考えています。</li> <li>過去の実施ケースが把握されていない状況があるため、連携記録やフォローの整備を進めていきたいと考えています。</li> </ul>
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源を活用した際に地域の子どもと交流する機会があります。</li> <li>法人内保育所や家族教室との合同活動を実施しています。</li> <li>外出レク時に他放デイの子どもと関わる機会があります。</li> <li>児童館送迎時に双方の様子を情報共有しています。</li> <li>地域の公園や施設を活用し、社会性の育成につなげています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流機会の計画的な設定や、年間を通じた交流プログラムの整備について、今後の検討課題として取り組んでいきたいと考えています。</li> </ul>	

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援協議会の児童支援分科会に参画し、研修にも参加しています。</li> <li>・今年度発足した協議会にも積極的に参加しています。</li> <li>・利用者によってはケア会議を複数回開催し、関係機関と連携しています。</li> <li>・スタッフを交代しながら定期的に参加するよう努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会で得た情報の内部共有方法を整えることで、支援に活かしやすい体制づくりを進めていきたいと考えています。</li> </ul>
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時に日々の様子を共有しています。</li> <li>・対面が難しい場合は連絡ノート・電話・メールを活用しています。</li> <li>・半年に一度の面談で状況を共有しています。</li> <li>・気になる様子があった際には家庭・学校の状況を詳しく聞き取り、共通理解を図っています。</li> <li>・送迎スタッフへの申し送りを徹底し、伝達漏れを防いでいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有の記録化や、家庭との連携内容を体系的に整理する仕組みについて、より一貫した支援につながるよう検討していきたいと考えています。</li> </ul>
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で開催されるペアレントトレーニングや研修会の情報を適宜提供しています。</li> <li>・メールや紙面で家族支援イベントの案内を行っています。</li> <li>・家族が参加できる講演会等の情報提供を積極的に行っています。</li> <li>・連絡帳やプリント配布を活用し、外部研修の案内を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所独自の家族支援プログラムの検討や、参加しやすい環境づくりについても、今後の課題として取り組んでいきたいと考えています。</li> </ul>
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に資料を用いて丁寧に説明しています。</li> <li>・個別支援計画立案時にも意向確認の機会を設けています。</li> <li>・問い合わせには適宜回答し、必要に応じて追加説明を行っています。</li> <li>・お便り等で定期的に周知しています。</li> <li>・変更があった際は手紙で周知し、必要に応じて説明しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明内容の標準化や理解度確認の仕組みを整えることで、より確実な情報提供が行えるよう検討を進めていきたいと考えています。</li> </ul>
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画立案時に子どもと保護者双方の希望を確認しています。</li> <li>・面談で意向を確認し、説明の上で同意を得ています。</li> <li>・日々の支援共有の中でも保護者の希望を聞く機会を設けています。</li> <li>・利用者が主体的に選択できる方法を取り入れています。</li> <li>・モニタリング面談で意向を再確認しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意向確認の記録方法を統一し、計画への反映がより明確になるよう整備を検討していきたいと考えています。</li> </ul>
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を示しながら説明し、同意を得ています。</li> <li>・面談で意向を確認し、説明の上で同意を得ています。</li> <li>・ZOOMや対面での面談を実施し、丁寧に説明しています。</li> <li>・再説明の際にも同意を得るようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同意取得の記録方法や説明内容の標準化についても、透明性向上に向けて取り組んでいきたいと考えています。</li> </ul>
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望があった際には適切に対応しています。</li> <li>・モニタリング面談や送迎時など、様々な機会に相談を受けています。</li> <li>・困り感に応じて助言や支援方法の検討を行っています。</li> <li>・必要に応じて面談の機会を設けています。</li> <li>・即答せず、スタッフ間で共有し検討した上で返答するよう努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談内容の記録や助言内容の一貫性を保つための仕組みづくりについて、今後の課題として検討を進めていきたいと考えています。</li> </ul>
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所主導では開催していないものの、地域の交流会や研修会の情報を提供しています。</li> <li>・保護者が集まれる場の情報提供を行っています。</li> <li>・地域の保護者向け研修会の案内を積極的に行っています。</li> <li>・保護者同士が自主的にLINE等でつながっている状況は把握しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会を開催しない理由(児童同士の関係性への影響、トラブルリスク等)は明確である一方、代替となる安全な交流機会について検討を進めていきたいと考えています。</li> <li>・きょうだい交流の機会についても、必要性や実施方法を検討していきたいと考えています。</li> </ul>
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期対応者が児発管へ報告し、必要時には児発管が速やかに対応しています。</li> <li>・苦情窓口を設置し、迅速な対応を行っています。</li> <li>・苦情内容を所内で検討し、回答しています。</li> <li>・苦情対応の体制を整備し、保護者へ周知しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情対応の記録方法や改善策の振り返りを体系化し、透明性の高い運営につなげられるよう取り組んでいきたいと考えています。</li> </ul>
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月お便りを発行し、活動内容・行事予定・支援情報を発信しています。</li> <li>・長期休暇中はイベント予定表を配布しています。</li> <li>・活動の様子や心理教育的内容、研修情報なども掲載しています。</li> <li>・必要に応じて家族に役立つ情報を随時提供しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPやSNSの活用が限定的であるため、情報発信の幅を広げる方法について検討を進めていきたいと考えています。</li> </ul>
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に確認した家族の希望に沿って個人情報を取り扱っています。</li> <li>・法人規定に基づき、外部提供時は複数名で確認しています。</li> <li>・個人名や顔写真の扱いに十分注意しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報取り扱いに関する研修の定期化や職員間の理解度確認について、今後の課題として取り組んでいきたいと考えています。</li> </ul>

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の可視化や情報量の調整を行い、受け取りやすい形に工夫しています。</li> <li>必要に応じて紙面化・簡潔な伝達方法を用いています。</li> <li>利用者の特性に応じて個別対応を行っています。</li> <li>保護者の希望に寄り添い、可能な配慮を実施しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報伝達方法の選択肢を増やし、より個別最適な支援につながるよう検討を進めていきたいと考えています。</li> </ul>
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所幼児を招いた行事を実施しています。</li> <li>見学者や実習生を積極的に受け入れています。</li> <li>法人内利用者や職員との交流機会を設けています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民を招いた行事は未実施であるため、地域向けの公開イベントの実施可能性について検討していきたいと考えています。</li> </ul>
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故防止・緊急時・防犯・感染症対応マニュアルを整備しています。</li> <li>年度初めに訓練計画を立て、月1回の訓練を実施しています。</li> <li>訓練実施状況をお便りで保護者へ周知しています。</li> <li>マニュアルを適宜見直し、最新情報に更新しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練の振り返りや改善点の記録を体系化し、より実効性の高い安全管理につなげられるよう取り組んでいきたいと考えています。</li> </ul>
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>BCPを策定し、研修・訓練・避難ルート確認を実施しています。</li> <li>月1回の定期訓練を行い、必要に応じてマニュアルを改定しています。</li> <li>非常災害に備えた体制を整えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>BCP訓練の評価や改善点の共有方法について、より強固な体制構築に向けて整備を進めていきたいと考えています。</li> </ul>
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用開始前に服薬状況を確認し、臨時薬は都度情報提供を依頼しています。</li> <li>アレルギー情報を保護者から受け取り、必要な配慮を行っています。</li> <li>契約時にかかりつけ医や服薬状況を確認し、薬物の提出を依頼しています。</li> <li>服薬ミス防止のため、複数名で確認しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報更新のタイミングを明確化し、定期的な再確認の仕組みを整える必要があるため、今後の検討課題として取り組んでいきたいと考えています。</li> </ul>
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者からの申告内容をもとにアレルギー対応を行っています。</li> <li>契約時に紙面で情報共有し、必要な配慮を確認しています。</li> <li>おやつ提供時は複数名でチェックし、アレルギー食品は分けて保管しています。</li> <li>誤食防止と緊急時対応を含めた体制を整えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師の指示書がないケースがあるため、取得促進や確認体制の強化について検討を進めていきたいと考えています。</li> </ul>
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全計画を策定し、研修や訓練を定期的実施しています。</li> <li>訓練計画に基づき、年間を通して安全管理に取り組んでいます。</li> <li>安全計画の見直しや修正を適宜行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全計画の内容を職員全体で共有し、理解度を高める取り組みについても、今後の課題として進めていきたいと考えています。</li> </ul>
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練実施状況をお便りで周知しています。</li> <li>契約時に安全に関する情報共有を行っています。</li> <li>季節に応じて感染症・熱中症対策などを再周知しています。</li> <li>保護者が関わる対応について、必要時に適宜お知らせしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭での協力が必要な場面について、より分かりやすい説明資料の整備を進めていきたいと考えています。</li> </ul>
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定様式で作成し、法人へ報告するとともに部署内で周知しています。</li> <li>インシデントレポートを用いて状況共有と再発防止策の検討を行っています。</li> <li>必要に応じてSHELL分析を実施し、全体で議論しています。</li> <li>起きた事案をスタッフ間で共有し、対応策を実施しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再発防止策の実施状況を追跡する仕組みを整え、より効果的な改善につなげられるよう検討を進めていきたいと考えています。</li> </ul>
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>年1回以上の定期研修を実施し、入職時にも早期に研修を行っています。</li> <li>法人内研修や外部研修に参加し、適切な対応の理解を深めています。</li> <li>毎月の研修に虐待防止内容を盛り込んでいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修内容の振り返りや理解度確認の仕組みを整えることで、より実践的な対応力向上につなげていきたいと考えています。</li> </ul>
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体拘束の定義について「身体拘束適正化検討委員会」を開催し、部署内で周知しています。</li> <li>契約時に身体拘束について説明しています。</li> <li>身体拘束の実施例はなく、必要時には計画書に記載する方針です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体拘束が必要となる可能性のあるケースに備え、基準や手順の明文化について、さらなる整備を進めていきたいと考えています。</li> </ul>	